

生産性向上人材育成支援センターでは、

中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。

DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。

また、DXに向けた3つの課題を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共
通
領
域

DX推進に向けたスタートコース

DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい
⇒【バックオフィス分野】DXの推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース

社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい
⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策

3
つ
の
課
題

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース

自社業務に適切なITツールを選定したい
⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善

業務プロセスの課題への対応コース

システム化に伴うコストの考え方を知りたい
⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入

ビジネスモデルの課題への対応コース

IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい
⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル

○受講対象者

事業主の指示を受けた在職者の方

○訓練日数・時間

おおむね1～5日
(4～30時間)

○受講料（1人あたり・税込）

2,200円～6,600円

○訓練会場

自社会議室等を訓練会場とすること
が可能（講師を派遣します）



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート

相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

訓練受講

所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



JEED 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

らしく、はたらく、ともに Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

*生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～



生産性センターHP

(2025.12)

DX対応コース一覧 全67コース (2026年4月)

DX推進に向けたスタートコース 4コース

119 DXの推進 117 DXの導入 126 DX人材育成の進め方 129 製造分野におけるDX推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

- 021 IoT導入に係る情報セキュリティ
- 057 ネット炎上時のトラブル対応
- 099 社内ネットワークに役立つ管理手法
- 116 情報漏えいの原因と対応・対策

- 040 eビジネスにおけるリーガルリスク
- 098 ワイヤレス環境に必要となる無線LANセキュリティ
- 115 體威情報とセキュリティ対策
- 125 テレワークに対応したセキュリティ対策

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応

23コース

- 009 POSシステムの活用技術
- 056 ITツールを活用した業務改善
- 091 企業内でIT活用を推進するため必要な技術理解
- 092 企業内でIT活用を推進するため必要なマネジメント
- 095 ビッグデータ活用
- 055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減
- 096 RPA活用
- 083 テレワークを活用した業務効率化
- 088 テレワーク活用
- 120 データサイエンス入門
- 130 経理業務の効率化につながるDXの実践

業務プロセスの課題への対応

25コース

- 007 在庫管理システムの導入
- 016 物流のIT化
- 013 流通システム設計
- 014 物流システム設計
- 012 卸売業・サービス業の販売戦略
- 018 クラウド活用入門
- 020 クラウドを活用したシステム導入
- 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充
- 093 IT新技術による業務改善
- 094 AI(人工知能)活用
- 132 生成AIの活用
- 090 失敗しない社内システム導入
- 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用
- 133 Pythonを活用した事務業務の効率化

ビジネスモデルの課題への対応

7コース

- 015 3PLとSCM
- 017 SCMの現状と将来展望
- 019 IoT活用によるビジネス展開
- 089 データ活用で進める業務連携
- 118 ベンダーマネジメント力の向上

生産・業務プロセスの改善

横断的課題

売上げ増加

IT業務改善

122 テレワーク業務における労務管理

123 オンライン営業技術

- 100 表計算ソフトを活用した業務改善
- 101 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
- 103 効率よく分析するためのデータ集計
- 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析
- 105 品質管理に役立つグラフ活用
- 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析
- 111 業務効率を向上させるワープロソフト活用
- 112 相手に伝わるプレゼン資料作成
- 114 SNSを活用した情報発信
- 124 オンラインプレゼンテーション技術

- 027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- 028 統計データ解析とコンセプトメイキング
- 046 インターネットマーケティングの活用
- 036 プロモーションとチャネル戦略
- 047 チャンスをつかむインターネットビジネス
- 029 顧客分析手法
- 045 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析

- 107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- 108 データベースを活用したデータ処理（基本編）
- 109 データベースを活用したデータ処理（応用編）
- 110 データベースを活用した高度なデータ処理